

第12回 奈良県動物愛護管理推進協議会 議事要旨

【出席者】協議会委員 4名（協議会委員総数 6名）

（会長）中森功征

（委員）伏見誠、大和悟、浦川正宏

【議事要旨】

1. 動物愛護推進員の活動状況報告、活動支援について

<事務局>

「現在活動されている推進員について」（資料1-1に基づいて説明）

「個々の活動事例の紹介」（資料1-2に基づいて説明）

「県主催のイベントへの参加状況について」（資料1-3に基づいて説明）

<委員>

意見なし

2. 動物愛護推進員の推薦について

<事務局>

「動物愛護推進員の推薦及び活動実績報告のとりまとめについて」

（資料2-1に基づいて説明）

「令和6年度の動物愛護推進員の委嘱状況について」

（資料2-2に基づいて説明）

<委員>

意見なし

3. 動物愛護及び管理に関する施策の推進に関する事項について

<事務局>

「災害発生時の動物愛護推進員の役割について」（資料3に基づいて説明）

<伏見委員>

資料3の県動物救護本部の組織図(案)はどこまで県の中で承認を得たものか。この協議会で組織図について協議するということか。災害対応可能な動物愛護推進員の推薦者を検討するにあたり確認したい。

<事務局>

この県動物救護本部の組織図(案)は、奈良県動物救護本部設置要綱に記載されている内容を図で表したものである。

資料3の主旨としては、今後災害が発生した際には、動物愛護推進員の方々の協力が非常に重要になってくると考えられるため、現在、県が想定している災害に関連する推進員の役割と組織図(案)について委員の皆様にご了知いただき、今後推進員の方を推薦していただく際の参考にしていただければと考え作成した。

<浦川委員>

奈良市が推薦している動物愛護推進員は2名いるが、部署でいうと保健所のように普段から犬猫に関する業務をしている訳ではなく、市役所の中の市民協働の推進に関する部署と広報に関する部署に配属されており、普段はそちらの業務が主であり、機会をみて啓発等を行っている状況である。

そのため、もし災害が発生した際は、市の災害対応の動員に割り振りされると思われるため、災害対応可能な推薦者をとということであればしっかり考える必要がある。

<大和委員>

実際に、過去の被災地では県や市町村の職員が動けず、マンパワーが足りないことが多かったため、事前に災害に対応可能な推進員を増やそうという意図は理解できる。

経験上、ペット同行避難者がいる避難所の数が多いとマンパワーが分散してしまい、支援が行き届かない。ペット同行避難者を集約する避難所を各市町村で1つ設ければ、人員や物資などの支援や頭数管理もそこで完結できる。動物愛護推進員の活動をやすくするためにも、それについても関係各所と検討してはどうか。

4. その他について

<委員>

議事および意見なし